

一般社団法人日本脊椎脊髄病学会

令和元年度第7回 理事会 議事録

令和2年1月24日(金)15:50～17:10

〒650-0046 神戸市中央区港島中町6丁目10-1

神戸ポートピアホテル南館 ルビー

【出席した理事】大川 淳、川上 守、西良浩一、島田洋一、高相晶士、種市 洋、千葉一裕、永島英樹、中村博亮、長谷川和宏、前田 健、松山幸弘、山下敏彦、山田 宏、渡辺雅彦

【欠席した理事】中村雅也

【出席した監事】加藤文彦、小西宏昭

【議事の経過の要領及びその結果】 中村博亮理事長は定款の定めにより議長となり、開会を宣言し、直ちに議事に入った。

審議・決議事項

1. メンバーシップ・コンプライアンス委員会より：会員審査 10-12 月分

島田理事が、10～12月の入退会について委員会では全員承認であった旨報告し、一同検討の結果承認した。

2. 大正 AWARD の賞金における源泉税等の件

大川理事が、当学会の学会賞（大正 AWARD）の賞金について、源泉税等の税金分を差し引いた額ではなく募集要項通り 100 万円にしてはどうかと提案した。ほかの理事から、個人の受け取る賞金については個人が税金を負担することが当然との意見があり、一同賛同した。検討の結果、大正 AWARD 賞金の手取り金額は従来通りとすることになった。

3. クリニカルフェローの募集要項の件

西良理事が、4年ごとのクリニカルフェロー施設の新規および更新募集、およびクリニカルフェローの申請時期について整理が必要との提案があった。検討の結果、施設は4月1日以後の申請、2020年度（今年度）以降の個人のクリニカルフェローは、4月から3月までの年度内の随時募集とすることになった。

4. その他

高相理事が、3月に発行する用語辞典について、「学会誌発送不要」の会員についても、用語辞典のみ発

送することにしたいと発言し、一同承認した。

審議・報告事項

1. 2025 年学術集会会長の件

中村理事長が、2025 年度の学術集会会長として、高相晶士（北里大学整形外科）先生から立候補があることを報告し、一同検討のうえ承認した。

2. 指導医制度委員会より：令和元年度指導医審査結果について

前田理事が不在だったため、中村理事長が令和元年度指導医審査結果について報告し、一同検討の結果、新規・継続・猶予すべてを委員会報告通りに承認した。

3. 他学会からのシンポジウム等の依頼について

・日本股関節学会より依頼のシンポジウム案最終決定

中村理事長が、Eメールの理事会で検討した日本股関節学会のシンポジウムについて3案を提案した。しかし、当該の日本股関節学会学術集会の日程が、日本脊椎インストゥルメンテーション学会と重なっているため、検討の結果、理事長からシンポジウムを提案はできるが演者や座長が参加できない可能性が高いことを先方に説明することになった。

また他学会からのシンポジウム等の提案依頼に対しては、日整会関連学会であれば基本的に依頼を受け、Eメール理事会の審議で検討することになった。

4. モニタリングWGより：脊椎モニタリング認定医について

松山副理事長が、日本臨床神経生理学会で行っているモニタリング認定医等に関連して、当学会としての認定基準案を、モニタリングWGの川端先生（東京医科歯科大）中心に作成したことを報告した。

認定医基準資料の「会員歴」部分の「脊髄外科専門医の更新1回」について、「脊椎脊髄外科専門医」と修正し、「更新1回以上」との記載も削除することになった。

また、認定技術師基準については、その「資格」に関して再検討することになった。

5. 倫理委員会より：「頸椎由来の頸肩腕症状に対する薬物治療の臨床経済研究」（プロジェクト委員会）および「XLIF®ACR®手術及びXLIF®THORACIC（ニューベシブジャパン社）手術のデータベース構築に関する研究」（データベース委員会）承認の件

永島理事が、倫理審査の依頼があった表題の2つの研究について、委員会内で審議し承認したため、理事長に上申し、最終承認をいただいたと報告した。

6. JSR 編集委員会より

JSR オンライン進捗状況（報告）：別添資料2

長谷川理事が、2020年1月号からのJSRオンライン化について、前回理事会以降アップデートされた進行予定を提示し、順調に進んでおり、今月20日に第1号目をJ-Stageへ掲載した旨報告し

た。

関連学会からの J-Stage への掲載内容について（審議）

長谷川理事が、JSR を合同で出版している学会の一つから、紀行文を今まで通り掲載したいとの希望があったと報告した。JSR 編集委員会内では、紀行文や雑記について各学会のホームページへ掲載する方針となっており、当学会の会員限定ページへの掲載を広報委員会で図ることとなり、一同賛成した。『JSR』には今後は紀行文を含む各学会の会則や会告等の雑記部分は一切掲載しないこととなった。

抄録集（冊子として 2021 年まで継続）の送付料見積（報告）

長谷川理事が、JSR 3 号（抄録号）については 2021 年まで J-Stage の web 版のほか紙媒体でも作成すると説明し、発送にかかる見積が杏林舎から届いたとして、杏林舎の見積書を提示した。一同異議なく、承認した。

優秀論文賞の件（承認）

長谷川理事が、JSR 編集委員会内で選考を行っていた「JSR 優秀論文賞」について、2 名の受賞者が確定したとして以下を報告した。

- 1 位 中元秀樹先生（横浜労災病院整形外科）
- 2 位 角谷賢一郎先生（神戸大学大学院整形外科）

一同確認し、承認した。

7. 国際委員会より：委員会報告

松山副理事長が、昨日の国際委員会の議事録を提示し、以下の点について承認を求めた。

APSS Annual meeting 2020

プログラムが確定し、JSSR から 17 名が招待講演を行うために現地へ出向くが、APSS からの補助が未定であるため、学会からの派遣講演として、学会本体より旅費と参加費の補助を依頼したい。

KSSS annual meeting 2020

以上と同様に JSSR から 8 名演者として現地に出向くので、学会本体から旅費の補助（ただし KSSS から宿泊費と参加費は出るので、交通費のみ）を依頼したい。

Spineweek2020 の現状

田口理事長時代から JSSR のブースを設けることや演題を発表することなどで協力体制を敷いている。9 名の演者の旅費の補助およびポスター等の展示で 200 ドル程度必要であり、学会本体からの支出をお願いしたい。

2021 年の Spine Across The Sea について

JSSR の Chair として中村雅也理事が参加予定。例年通り、学会本体から旅費の補助を依頼したい。

以上について、検討の結果認められた。

千葉理事が、財務委員会としては個別案件ごとに理事会で承認を求めるのではなく、国際委員会の予算として計上してもらい、委員会内でその予算をいかに分配するか検討してほしいと意見を述べ、松山副理事長が承知した。また 6 時間以内のエコノミークラスでの渡航についても、大まかな上限を決めてほしいと意見を述べ、松山副理事長が承知した。

第 15 回アジアトラベリングフェロー（ATF）とビジティングスカラーの選考について

ATF に 15 名の申請があり、国際委員会にて 10 名を選出したとして資料が提示されたが、採点に問題があり後日 E メール理事会に修正資料を提出し、承認を求めることになった。

8. 新技術評価検証委員会より：委員会報告と WG メンバー選定

渡辺理事が、12 月 1 日に行われた委員会議事録を提示し、委員会で検討された事項について資料に沿って報告した。

また、新たな WG を 3 つ設置したいとして承認を求めた。

ACR・胸椎 XLIF WG

金村徳相、齋藤貴徳、松山幸弘、水谷 潤、山田 宏、渡辺航太、石井 賢、海渡貴司、新井嘉容

OLIF51 WG

折田純久、藤林俊介、飯田尚裕、小谷善久、田中雅人

セメント注入型スクリューWG

戸川大輔、吉井俊貴、江幡重人、八木 満

以上委員会の設置と委員長およびメンバーへの委嘱が認められた。

前田理事が、新技術に関する WG のメンバーからは COI を求める必要があると説明し、後日 COI の提出について対象者へ連絡すると発言し、渡辺理事が承知した。

9. データベース委員会より：頸椎人工椎間板登録ほか

種市理事が、頸椎人工椎間板置換術手術のデータベース構築に関する研究について、データ登録施設が徐々に増えていると報告した。一方、施設が増えるごとに研究計画書を修正することになると各施設の倫理委員会の再審査が必要となってしまうので、簡便化のために、法律に詳しい藤田委員にも相談し、登録機関の部分については別紙掲載とすることにしたいと説明した。

永島理事が、もし別紙とすることでは承認しない施設があった場合はどうするかと尋ねた。種市理事が、1 年ごとには必ず研究計画書を刷新するのでそれまで参画を待っていただくか、そういった施設は少数と思われるので、もし要望があれば都度対応することになると回答した。

10. その他

・名誉会員推薦の件

大川理事が、2月を締め切りとして名誉会員の推薦を受け付けるので、推薦があれば事務局まで申請してほしと依頼し、一同承知した。

・E理事会報告（参考）

一同査収した。

以上

令和2年1月24日

一般社団法人日本脊椎脊髄病学会

議長 理事長 中村博亮

監事 加藤文彦

監事 小西宏昭